

学びの場が集約

「な人間性を磨く、充実の学園生活を」

HBU

HOKKAIDO BUNKYO UNIVERSITY



国際学部新設『次代のニーズに対応』 国際教養学科 国際コミュニケーション学科

新設される国際学部では、変化し続ける世界の中で本質を見抜き、多様な人びとと協働しながら、世界で活躍し、地域社会に貢献できるグローバルでグローバルな人材を育成します。国際経験が豊富な講師陣による魅力あふれる授業と、北海道の豊かな環境を生かした体験を融合させた学びで、社会課題の発見や解決を世界と地域の2つの方向性から学習します。国際教養学科では、複数の言語で変化し続ける現代社会を的確に理解する国際関係やビジネスに必要な政治・経済、世界のパートナーの背景にある社会や文化を学ぶ国際地域研究を、国際コミュニケーション学科では高度な語学力を基礎に、仕事の現場で通用する異文化理解や対人コミュニケーション力を養成します。

北海道文教大学附属高等学校(F高) 恵庭キャンパスに移転



「MEISEIはFになる！」このフレーズ、附属高校の頭文字Fにさまざまな意味を含め、F高の歴史がここ恵庭市から始まることとなりました。Future(フューチャー)未来・Feasible(フェジブル)実現できる・Fun(ファン)楽しみ・Friend(フレンド)友・Focus(フォーカス)集中・Flair(フレア)才能・Fight(ファイト)闘う・Forever(フォーエバー)永遠など、F高には生徒の可能性をいっぱい引き出せる教職員、最新施設・設備や新カリキュラムなどの教育環境が整っています。

新しいF高で仲間を！ F高の教育で自信を！ F高の活動で夢を！
そして、恵庭市の皆様からFaith(フェイス)信頼されるF高を進化させて参ります。恵庭市のF高をどうぞよろしくお願いいたします。

幼保連携型認定こども園北海道文教大学幼稚園 誕生



新しいこども園が恵庭市漁町に誕生します。幼保連携型認定こども園北海道文教大学幼稚園です。定員110名の認定こども園として恵庭市における「0歳からの教育」を北海道文教大学の各学科と連携して探究・実践してまいります。

これまでは札幌市南区で50年間北海道文教大学附属幼稚園として、地域の信頼を得て幼児期の教育を担ってきました。今日、乳幼児期の保育に求められるのは、保護者の皆さまや地域の方々の日々の生活と密接につながりながら「一人ひとりの子どもを大事にすること」です。子どもたちの育ちの豊かさや喜びを、日々の生活を通して保護者の皆様と分かち合うことに力を尽くしたいと思っております。